

を変更・廃止します。の見直し(案)」に基づき、都市計画道路

Vol. 148

2018 (平成30年)

社会経済情勢の変化に対応

赤≒

ワタ

F 2

都市十回道各よ、都市の舟来象を導き、る最も基本的な都市施設です。 省地形成機能を持っており、都市におけ間機能、街区や土地利用の誘導などの市間機能、街区や土地利用の誘導などの市道路は、通行や沿道利用などの交通機

和市計画道路は、都市の将来像を導き、

平成20年から計画見直しに着手

直し案を策定。7路線を変更・廃止する 市計画道路の見直しに着手し、 直 ため市では、 化しており、 計画決定時から社会経済情勢が大きく変 決定されたものです。 や経済が急成長した1970年代に計画 への見直しが求められていました。この 人口減少や建設投資の縮小などにより、 |しマニュアルに基づき平成20年から都 市の都市計画道路の多くは、 国 市の将来像を見据えた計画 県の都市計画道路の見 しかし、 近年は、 29 年 に 見 人口増加

広報おうしゅう

お知らせ版

		場所 江刺総合支所・多目的ホール)日時 7月18日困午後6時3分~)とおり開催します。	計画変更素案の説明会を開催	3条および第54条)は解除されます。すた、廃止区間に該当する都市計画法第すされます。する都市計画道路についても、道路区域の一部がよお、この7路線と交差する他の都市ととにしました。
--	--	---	---------------	---

〇日時 〇日時 〇日時 ※変更図書の縦覧は、7月2日厠~23日 場所 場所 場 所 江刺・前沢総合支所地域整備課、県庁都 周(**国**周(

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

</ 本庁3階・講堂 7月22日回午前10時 7月20日金午後6時30分~ 7月19日困午後6時30分~ 本庁3階・講堂 前沢ふれあいセンター・研修室 S

縁524)■問い合わせ(本庁都市計画課計画係(内市計画課、県南広域振興局土木部)

 π

